



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月4日

上場会社名 株式会社ビーアールホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 1726 URL <https://www.brhd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 隆志  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川野 博明 TEL 082-261-2860  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	26,905	△12.1	1,211	△6.9	1,100	△13.6	751	△7.9
2025年3月期第3四半期	30,611	1.0	1,301	△16.6	1,272	△16.8	816	△15.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 870百万円 (11.2%) 2025年3月期第3四半期 782百万円 (△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	16.66	16.56	
2025年3月期第3四半期	18.21	18.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	39,468	15,330	38.7	337.11
2025年3月期	41,933	15,067	35.7	333.48

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 15,261百万円 2025年3月期 14,980百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 15.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2026年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

詳細は、本日（2026年2月4日）公表しました「期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△9.2	1,650	△15.5	1,500	△20.2	2,180	71.8	48.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

詳細は、本日（2026年2月4日）公表しました「固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上等による通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ： 無 |
| ④ 修正再表示              | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	45,795,000株	2025年3月期	45,795,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	522,372株	2025年3月期	873,647株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	45,125,317株	2025年3月期 3Q	44,835,673株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9
3. 補足情報 .....	10
受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、米国の関税措置による世界経済への影響、ウクライナ及び中東情勢といった地政学リスクの継続、物価高騰、金利・為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である建設業界におきましては、建設資材の価格高騰や労務費の上昇及び労務需給の逼迫等の影響もあり、厳しい事業環境が続いております。

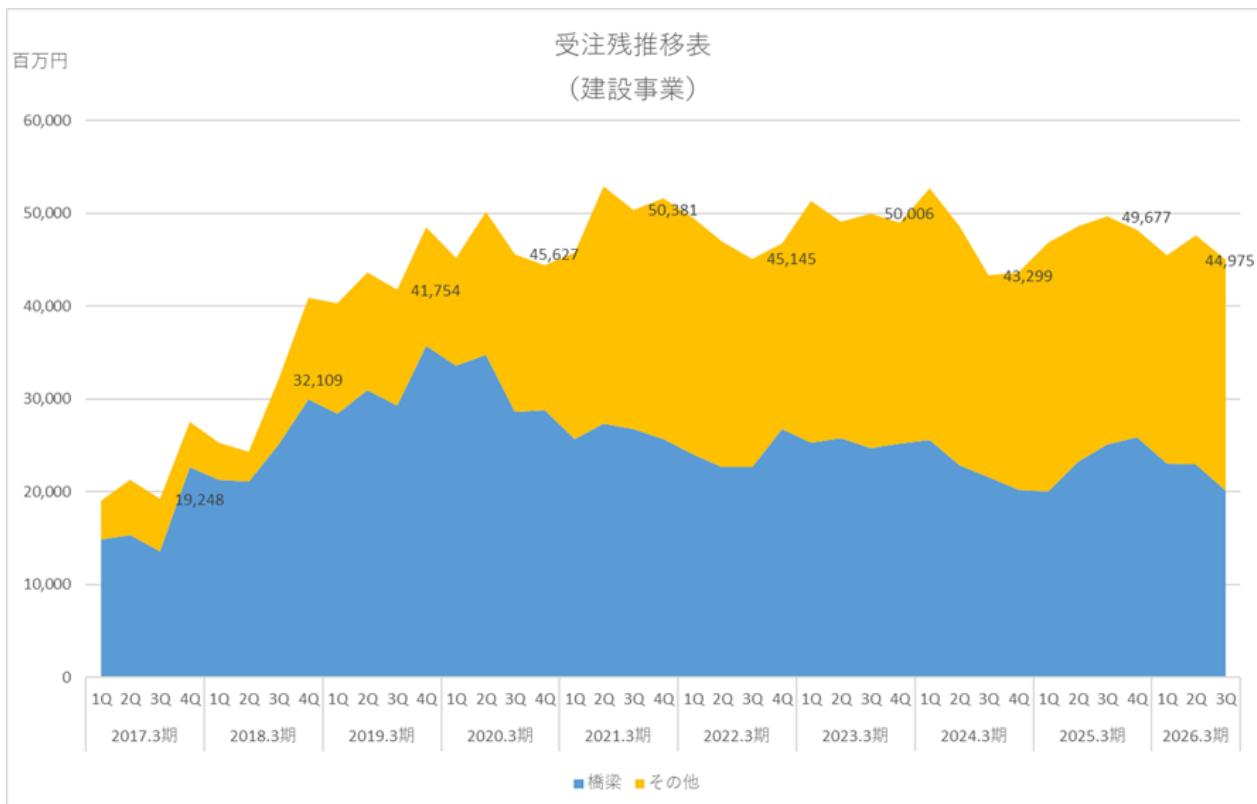
このような情勢の下、当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高は26,905百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益は1,211百万円（前年同期比6.9%減）、経常利益は1,100百万円（前年同期比13.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は751百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、金額にはセグメント間取引を含めております。

#### (建設事業)

建設事業におきましては、市場全体の発注量の減少等により、当第3四半期連結累計期間の受注高は18,713百万円（前年同期比42.2%減）となり、手持工事高は44,975百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

大型工事の進捗が伸びず、売上高は21,941百万円（前年同期比16.7%減）となり、セグメント利益は2,109百万円（前年同期比18.2%減）となりました。



#### (製品販売事業)

製品販売事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の受注高はマクラギ及び建築製品の受注が増加したこと等により4,397百万円（前年同期比6.7%増）、売上高は4,772百万円（前年同期比21.3%増）となりました。また、製作工程の見直しによる原価削減等により、セグメント利益は387百万円（前年同期はセグメント損失71百万円）となりました。

#### (情報システム事業)

情報システム事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期と同水準の430百万円（前年同期比3.2%減）となりましたが、人件費等の高騰によりセグメント利益は13百万円（前年同期比30.9%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、当社保有の極東ビルディングにおいて、一般店舗・住宅の賃貸管理を行っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と同水準の107百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は69百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

財政状態につきましては、当第3四半期連結会計期間末の総資産は39,468百万円となり、前連結会計年度末比2,465百万円の減少となりました。その主な要因は、未成工事支出金が386百万円、投資有価証券が179百万円、現金預金が103百万円それぞれ増加したものの、未収入金が1,842百万円、受取手形・完成工事未収入金等が760百万円、有形固定資産（純額）が337百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は電子記録債務が440百万円、未成工事受入金が309百万円、賞与引当金が178百万円それぞれ増加したものの、短期借入金が1,400百万円、支払手形・工事未払金等が1,347百万円、長期借入金が790百万円それぞれ減少したことにより、前連結会計年度末比2,728百万円減少の24,137百万円となりました。なお、有利子負債の残高は前連結会計年度末より2,215百万円減少の17,151百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益751百万円の計上、株主配当金699百万円の支払い、譲渡制限付株式割り当て等による自己株式の減少129百万円などにより、前連結会計年度末比262百万円増加の15,330百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）連結決算において、固定資産売却益を特別利益として計上する見込みとなったことに加え、当第3四半期連結会計期間の実績及び足元の業績動向に照らし、2025年5月14日に公表した通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上等による通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金預金	1,709	1,813
受取手形・完成工事未収入金等	27,385	26,625
未成工事支出金	213	599
商品及び製品	1,807	1,577
仕掛品	150	99
材料貯蔵品	333	252
未収入金	2,995	1,152
その他	32	144
流动資産合計	34,627	32,265
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,069	2,868
土地	2,201	2,119
その他（純額）	1,138	1,084
有形固定資産合計	6,410	6,072
無形固定資産	114	116
投資その他の資産		
投資有価証券	476	655
繰延税金資産	132	188
その他	191	188
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	781	1,014
固定資産合計	7,306	7,203
資産合計	41,933	39,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流动負債		
支払手形・工事未払金等	4,076	2,729
电子記録債務	1,213	1,654
短期借入金	14,500	13,100
1年内返済予定の長期借入金	1,060	1,060
未払法人税等	335	301
預り金	341	336
未成工事受入金	556	865
賞与引当金	—	178
工事損失引当金	40	42
完成工事補償引当金	31	—
その他	836	826
流动負債合計	22,993	21,094
固定負債		
长期借入金	3,476	2,685
その他	396	357
固定負債合計	3,873	3,043
負債合計	26,866	24,137
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,114	3,114
資本剰余金	2,759	2,740
利益剰余金	9,293	9,346
自己株式	△322	△192
株主資本合計	14,845	15,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	252
その他の包括利益累計額合計	134	252
新株予約権	87	68
純資産合計	15,067	15,330
負債純資産合計	41,933	39,468

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	30,611	26,905
売上原価	27,019	23,259
売上総利益	3,591	3,645
販売費及び一般管理費	2,290	2,434
営業利益	1,301	1,211
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	14
スクラップ売却益	46	36
その他	44	12
営業外収益合計	101	63
営業外費用		
支払利息	97	145
工事保証料	18	13
その他	13	16
営業外費用合計	129	175
経常利益	1,272	1,100
特別損失		
公開買付関連費用	—	10
特別損失合計	—	10
税金等調整前四半期純利益	1,272	1,089
法人税、住民税及び事業税	539	454
法人税等調整額	△83	△116
法人税等合計	456	337
四半期純利益	816	751
親会社株主に帰属する四半期純利益	816	751

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	816	751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	118
その他の包括利益合計	△34	118
四半期包括利益	782	870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	782	870
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金の計上基準)

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

なお、連結会計年度末においては、連結会計年度末までの支給対象期間に対応する賞与は、確定賞与として処理することとなっているため発生いたしません。

## (四半期連結貸借対照表に関する注記)

## 1 貸出コミットメント

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行6行と貸出コミットメント契約を締結しております。

貸出コミットメント契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
貸出コミットメントの総額	4,000百万円	4,000百万円
借入実行残高	2,300	3,000
差引額	1,700	1,000

## 2 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が当四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
電子記録債権	一千万円	4百万円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	290百万円	534百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	26,338	3,901	354	16	30,611	—	30,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	32	90	91	213	△213	—
計	26,338	3,933	445	108	30,825	△213	30,611
セグメント利益又は損失(△)	2,578	△71	19	67	2,594	△1,293	1,301

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,293百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,293百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	21,941	4,647	299	16	26,905	—	26,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	124	131	90	346	△346	—
計	21,941	4,772	430	107	27,251	△346	26,905
セグメント利益	2,109	387	13	69	2,581	△1,369	1,211

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,369百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,369百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

当社は、本日(2026年2月4日)開催の取締役会において、株式会社横河ブリッジホールディングス（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式及び新株予約権に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に賛同する旨の意見を表明するとともに、当社の株主及び新株予約権の所有者の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て当社を公開買付者の完全子会社とすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。詳細については、本日付(2026年2月4日)で公表いたしました「株式会社横河ブリッジホールディングスによる当社株券等に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」をご参照ください。

### 3. 補足情報

#### 受注及び販売の状況

##### (1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	受注高（百万円）	前年同期比（%）
建設事業	18,713	57.8
製品販売事業	4,397	106.7
情報システム事業	460	89.4
不動産賃貸事業	107	99.1
合計	23,678	63.7

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

##### (2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	販売高（百万円）	前年同期比（%）
建設事業	21,941	83.3
製品販売事業	4,647	119.1
情報システム事業	299	84.4
不動産賃貸事業	16	100.0
合計	26,905	87.9

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先の販売実績と総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
	金額（百万円）	割合（%）	金額（百万円）	割合（%）
西日本高速道路株式会社	7,122	23.3	5,589	20.8
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	904	3.0	3,676	13.7
中日本高速道路株式会社	4,628	15.1	2,673	9.9

3. 上記金額には消費税等は含まれておりません。